

風紋

浜岡砂丘

春の全国交通安全運動

令和元年五月十一日～二十日

●スローガン
安全をつなげて広げて
事故ゼロへ

今年には四年に一度の統一地方選挙と重なったため、令和元年五月十一日から二十日までの十日間、春の全国交通安全運動が実施されます。県内では四月の時点で交通事故死者数が前年よりも上回っています。新年度が始まり、一カ月が経ち、新入学児童や新入社員など、新生活をスタートさせた方たちは少し慣れて気持ちが緩む頃です。また、今年にはゴールデンウィークが十連休になる人も多いと思います。楽しい休暇を過ごすためにも車を運転する際には気持ちを緩めず、安全運転を心がけましょう。



袋井建協安全祈願

四月五日、森町の小國神社で袋井建設業協会の安全祈願祭に行ってきました。昨年度は、重大な労働災害・交通災害とも無く過ごされましたので今年度も無事故・無災害で無事に過ごせますよう安全第一で工事を務めていきます。



安全パトロール

四月八日に社内安全パトロールを実施しました。今回は金谷八工区と平成三十年度掛浜線(水路工)の現場へ行きました。今年度も災害ゼロで工事を終わることができるよう皆さんの協力をよろしくお願いします。



『平成』から『令和』へ 平成を振り返って

皆様も注目をされたと思いますが、四月一日に新しい元号の発表がされました。まだ使うのに戸惑いがありますが、五月一日からは新元号である『令和』が施行されます。新元号に込められる意味は、



『人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように。』という素晴らしい意味合いが込められています。

○元号とは?
年を記録する方法(紀年法)の一種。大化の改新が始まりとされ、『令和』は二百四十八番目です。
○決定方法は?
(元号法)に基づき、政府が決定。出典文献は『万葉集』です。
○元号の条件は?
「国民の理想としてふさわしい良い意味を持つ」「漢字二文字」「書きやすい」「読みやすい」「これまでに元号や天皇のおくり名として用いられていない」「俗用されて

保険料率 変更のお知らせ

四月給料天引き分より、健康保険・介護保険料率に変更になりましたのでお知らせします。

健康保険が9.77% ↓ 9.75%
介護保険が1.57% ↓ 1.73%

介護保険該当者は、四十歳以上六十五歳未満の方です。また、この保険料は事業主と被保険者が折半で負担しています。不明な点がありましたら総務部までお問い合わせ下さい。

5月安全努力目標

年度安全標語 **「忘れるな!ルールがある事 守る事」**
意識を高めて 災害ゼロ
春の全国交通安全運動(5/11~5/20)

- 作業安全**
 - 立入禁止措置を確実に
 - 気の緩みによるヒューマンエラーの防止
- 交通安全**
 - かもしれない運転の実施
- 環境目標**
 - 電気の消し忘れ、蛇口の閉め忘れに気を付けましょう

行事記録

- 3/27 御前崎市商工会新野支部会
- 3/28 御前崎市商工会賑わいづくり委員会
- 3/29 県議会議員選挙告示
- 4/1 シーテック安全衛生協議会
- 4/4 御前崎市建設業組合役員会
- 4/5 袋井建協安全祈願祭・小國神社
- 4/8 菊川地区安全運転管理協会定例役員会・菊川
- 4/9 御前崎市建設業組合臨時役員会
- 4/12 経営事項審査説明会・浜松
- 4/15 御前崎市商工会補助金セミナー
- 4/16 御前崎市建設業組合全大会
- 4/19 御前崎市商工会青年部通常総会
- 4/20 御前崎シーサイドピクニック
- 4/22 袋井建協経営者セミナー・袋井
- 4/24 中電不動産(株)浜岡支社現場監督者安全会議
- 4/25 鋼橋の維持管理技術勉強会・浜松
- 4/26 シーテック安全衛生協議会
- 4/26 技士会代議員会・袋井
- 4/26 技士会技術者講習会・袋井
- 4/26 静岡県若手建設経営者の会他交流ゴルフコンペ・伊豆
- 4/27 天皇の即位の日

発行 増田組
TEL 0537-861324
FAX 0537-861675
E-mail masudagumi1@mail.wbs.ne.jp
URL http://www.masudagumi1912.co.jp

いるものではない」の六つとされています。さて、三十一年間の『平成』を振り返り、皆様にもいろいろな出来事があったと思われまふ。弊社の社内報である『風紋』も、以前は『増田組だより』という名前でした。昭和六十一年十一月発行の第一七〇号を機に現在の『風紋』に変更となりました。
昭和四十一年六月に創刊され、平成元年六月に二〇〇号を迎えることができました。今号で五五九号ですが、毎月風紋委員会でも内容を検討し、いろいろなテーマをもとに作成をおこなっています。月によっては記事に内容が少ないうちがあり、記載記事の決定に時間を要する月も多々あります。風紋委員会のメンバーで、終業後に集まり内容を吟味し、各号に載せる内容が重複しないように注意して編集をおこなっています。五五九号という数字には、この作業が代々受け継がれてきた証だと思えます。今後も皆様に目を通していただく『風紋』作りを継続し、六〇〇号、七〇〇号と達成するのを目標に引き続き頑張りたいと思えます。



ホームページアドレス
<http://www.masudagumi1912.co.jp>

カタログパーク <http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html>

新年度の抱負

ヒヤリハット

常務取締役 山下茂俊
 新年度も早いもので一ヶ月が過ぎようとしております。今年度で平成も終わり、新年号「令和」が五月一日よりスタートします。

当社に於いても、四月より新入社員が昨年に続き入社しました。この人財不足の中、大変貴重なことと感謝しております。この業界の将来を考えると先行きが不透明で苦慮しています。

人財を増やし力強い会社を維持していく上で、働き方改革等により、休日を増やし残業が少ない業務改革並びに、社内のコミュニケーションを深く絆の強い人間関係の構築を行い、社員全員が何でも相談できて、お互いに尊敬と信頼感が生まれる様な、そんな会社となれば自然と従業員が増え、より良い会社となることを信じて、各部門間の隔たりをなくし、働きやすい環境を第一に考えていきたいと思います。業務に遂行していきま

取締役 土木部長 藤原茂伸
 四月三十日で三十一年間の「平成」が終わり、五月一日から新年号「令和」が始まります。

昨年度を振り返り、やはり印象に残っているのは台風24号による大規模な被害だと思えます。御前崎市でも数日に亘り停電となり、弊社も内部業務に差し支えが出るという状況でした。思ってもいない事態であったため、社員一同戸惑いがありました。いつ起こるか分からない「南海トラフ地震」を考えると、緊急時の組織体制・設備整備は重要だということを知らされる一件だったと思えます。

新年度においては通常の受注工事も当然ながら、起きないことが一番望ましいですが、災害時に迅速に行動できる組織作りに入力を入れていき、「無事故・無災害」で各工事を完成させるように課員一同尽力を尽くしたいと思います。

取締役 建築部長 植田幸男
 新年度も一ヶ月が経過し、五月からは新しい元号が始まります。新たな気持ちで業務に励み、地域貢献に努めるつもりです。

建設業全体での課題は「人口減少、高齢化による人材技術者不足」「働き方改革を含めた建設職場環境の整備」「建設工事の信頼を揺るがす事案の発生する中で、施工不良等の未然防止への取り組み」「AI等の新しい技術の取り組みと採用」などがあげられます。また最近発生する地球温暖化が要因と考えられる豪雨・台風災害、地震災害など大規模な自然災害への迅速な対応と、その後の復旧への協力も建設業界には求められています。

今後も施工体制の強化により、工事の早期着工・完成を実現し、より良い施工の実行をめざします。安全面においても無事故無災害での施工が実施できるように、協力業者の皆さんと共に工事を進めていきます。

平成三十年度の各工事及び日常業務より報告されたヒヤリハットを集計しました。

ヒヤリハットとは重大な災害や事故には至らないものの、一歩間違えば直結するような事例の発見で、文字通り「突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもの」です。

当社では、ヒヤリハット活動をリスクアセスメントや新規入場者教育、又は安全パトロールでの指導用資料として活用しています。一件の重大事故・災害に対して二十九件の軽微な事故・災害、二十九件の軽微な事故・災害が起る。さらに三百件のヒヤリハットがあると言われています。(ハイインリツヒの法則)



●三十年度集計結果
 項目別で多かったのが、仮設・足場です。

お茶の子



寒さもだんだんとやわらぎ始める季節にお茶の新芽は芽吹きまします。新茶の季節の始まりです。お茶は一年に四回の摘採ができ、その年最初の「一番茶」を新茶といひ、一番おいしく香り豊かなお茶が出来上がります。ここ静岡県は緑茶の生産量日本一を誇るお茶の大国です。四月中旬に差し掛かるころ、静岡の一大茶園は新芽を伸ばし始め、冬の寒さを耐え抜いた茶畑の色は鮮やかな萌黄色に様変わりし始めます。日本を横断する新幹線の車窓・高速道路からもその「緑の絨毯」とも評される景色を見ることが出来ます。

さて、この「風紋」が皆様のお手元に届く頃まさに、平成三十一年の新茶が始まります。今年はお



る意味特別な年で、流行りの言葉で言えば「平成最後の」が付く年であり、さらには新元号が五月一日から始まり、「令和元年」の記念すべき新茶となるわけです。

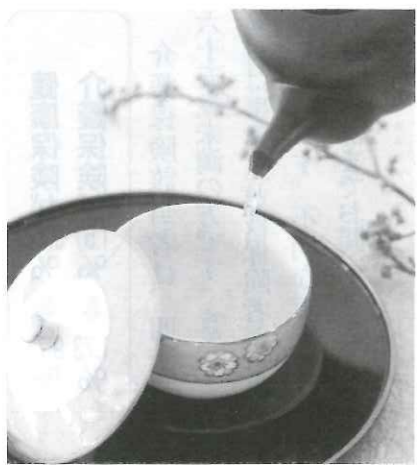
お茶の歴史は、平安朝時代の初期・約一二〇〇年前「唐（現在の中国）へ留学した僧侶が持ち帰ったのが始まりとされています。この長い歴史の中でお茶は高貴な位の人々の間で妙薬として広まり、姿形を少しずつ変えながら現在の緑茶文化に繋がりました。

「八十八夜新茶」
 新茶時期によく耳にする「八十八夜」という言葉があります。茶摘み歌の歌詞にも出てくる言葉で、静岡県育ちの人であれば一度は聞いたことがあると思います。この「八十八夜」とは、立春から数えて八十八日目の五月二日を指し、お茶の生産は最盛期を迎えます。さらに八十八夜は季節の変わり目を知らせる大切な日とされており、古くから八十八夜に摘まれたお茶を飲むと長生きできると言われ、不老長寿の縁起物とされています。

「みるいお茶・新茶」

高級な茶葉に使う言葉「みるい」この言葉は遠州弁で、「若い・未熟な」といった意味のある言葉です。茶業界では、より若い芽を摘採されたお茶だという表現で使用されます。若い芽ほど繊細で青々しい香りが漂い、まさに「新茶」らしい芳醇な香りを楽しめます。

「まるよ茶屋」には、お茶だけを楽しめる席をご用意しております。この時期にしか味わうことのできない新茶の香りをぜひ堪能いただければと思います。



住所：御前崎市門屋1950-2
 電話番号：01200466009
 営業時間：9:00~18:00
 URL: http://maruyotea.com

